



# かざこし

長野県長寿社会開発センター 38号

飯伊地区賛助会 平成27年7月17日

事務局 飯田市追手町 2-678

飯田保健福祉事務所福祉課 (飯田合同庁舎)



## 賛助会総会開かれる

平成27年度、飯伊地区賛助会総会が、さる6月5日(金)、午後1時30分より飯田合同庁舎3階講堂で開催されました。総会に先立ち記念講演として、前松川町資料館 酒井幸則先生により「生田村へ墜落した戦闘機と塩倉の人々」と題して、戦争の悲惨さと、平和の尊さを再確認する講演お聞きしました。聴講者はシニア大学生の参加もあり150人余りになりました。(詳細は6ページ)

続いて総会を行い、26年度事業、決算報告、地区賛助会会則の一部改正、27年度の事業、予算案が承認されました。

講演される酒井幸則先生



塩倉で戦死した

澤田熊雄陸軍軍曹



講演会場の様子



総会で挨拶される佐々木亮助会長



## 「内山理事長さんをお迎えして意見交換会(研修会)」を開催

シニア大学飯伊学部の講師として公益財団法人長野県長寿社会開発センターの内山二郎理事長さんが来飯された5月19日(火)、講座が終わった3時20分から標記の会を行いました。

これは、飯伊地区賛助会役員が現状の

- 会員の急激な減少(高齢化)
- 新入会員が数名(グループ活動の停滞)
- 賛助会員の減少は役員のパワー不足でもある
- 賛助会役員が会について自信を持って説明できる知識を持ちたい

等の課題意識があって、開催されたものです。センターから高島事務局長、岩崎主事も加わっていただき5時30分まで熱い議論が展開されました。

センターでは当初設立時の趣旨である



《高齢者の豊かな経験や知識・技能を活かした積極的な社会参加活動を展開することにより、高齢者の生きがいと健康づくりを増進し、「豊かで活力ある長寿社会づくり」をすすめる》ことを目的に、賛助会員制度があり

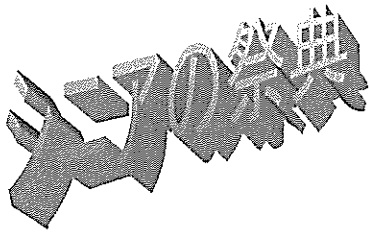
賛助会員はセンターの趣旨に賛同し、センターを応援する人であり、趣味等を活かしてグループ活動による社会参加活動を通じて地域を支えていく存在です。

従って賛助会費はセンターの活動を支援する為であって基本的には寄付金に該当すると説明がありました。

そこで、現在までの反省として、賛助会員を増やすために、賛助会に入るとこんな金銭的なメリットがある、と宣伝してきたのも事実ですが、今後はセンターの趣旨目的を十分理解し、新規賛助会員の勧誘と運営に務めたいと思います。

その他いろいろな意見要望が出ましたが、センターとしては『賛助会員制度が正確に理解され、また、「長寿社会開発センター」が県民の皆様に広く周知されるよう情報発信をすること』に重点を置いた取り組みを推進していきたいとの説明でした。

飯伊地区賛助会としましても、センターの意向を踏まえて、もう一度原点に立ち返って、会員拡大ができるよう活動していきたいと思います。



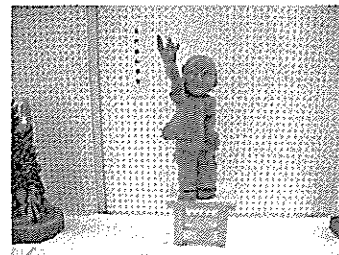
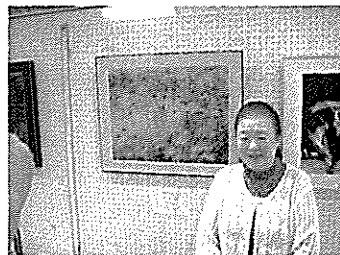
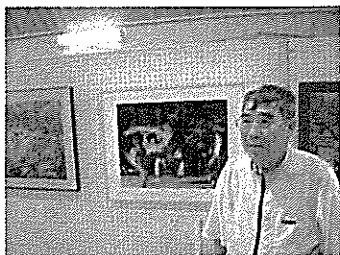
# 2015 信州ねんりんピック開催

長野県内4地区（南信・中信・東信・北信）を回りながら毎年行なう信州ねんりんピック、本年は北信地区（長野市・千曲市）で開催されます。

## ◆ 文化・芸術交流大会

- 式典・ステージ発表・講演（27年9月5日） 上山田文化会館
- 長野県高齢者作品展（27年9月4日～6日）千曲市総合観光会館・上山田文化会館

写真紹介↓ それぞれの場で活躍する・飯伊地区の皆さん（2013年）



写真紹介 2014・作品出品の紹介 ↑

県知事賞作品

## ◆ スポーツ交流退会

### 長野運動公園総合運動場

27年10月3日（土）

ダンススポーツ・グランドゴルフ・ゲートボール・ソフトテニス・ソフトバレー・ペタンク  
ウォークラリー・弓道・テニス・・・9種目は長野運動公園総合運動場と周辺で・・・  
マレットゴルフ・・・犀川第2運動場マレットゴルフ場（少し離れております）・・・

2014・スポーツ大会・開会式



◎ 作品出品者、スポーツ大会参加申込みは7月31日締め切りです。

※ 詳しくは保険福祉事務所福祉課（北澤担当） ☎ 0265-53-0464 FAX 0265-53-0474

(公財)長野県長寿社会開発センター賛助会飯伊支部事業

## マレットゴルフ大会

と き：平成27年10月15日(木) 雨天順延

ところ：親水公園マレットゴルフ場(下久堅)

参加費：100円(障害保険等)

申し込み用紙：9月中旬から 各町村役場・飯田市自治振興センター

飯田保健福祉事務所福祉課に置かれています。

申し込先：飯田保健福祉事務所福祉課内

(公財)長野県長寿社会開発センター飯伊支部事務局

〒395-0034 飯田市追手町2丁目678番地

飯田合同庁舎内

電話 0265-53-0464

FAX 0265-53-0474



年一回の支部事業です。参加賞はもちろんあります。多くの会員の方々との交流が楽しみです。

# シニア大学の講座の様子

シニア大学は、今年度から「学生募集案内」で入学資格に「学習意欲が旺盛であり、地域活動等を行おうとする方」と新たに「地域活動等を行おうとする方」という文言が入りました。シニア大学の講座内容も見直しがなされて来て「実践講座」がより実践活動に向けたものになってきております。

5月、1年生・2年生共に、長寿社会開発センターの内山二郎理事長先生をお迎えして「人生の棚卸し」「充実した人生90年時代を実現するために」の講座がありました。

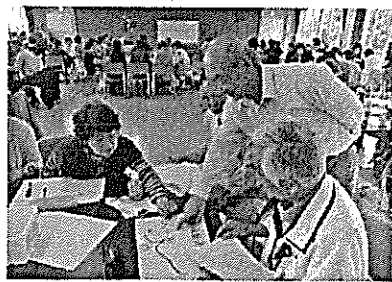
### ○「人生の棚卸し」

事前学習として、生まれて来てから、現在までの出来事を「何時」「どのような事があったか」「その時の気持ちはどうであったか」を書き出してあります。それをもとにして、自分の歩んできたことを道路に例えて「人生ロードマップ」を描きました。「登り坂」、「下り坂」、「どん底」「平坦な道」「谷落ち」、等々様々な場面が道路として描かれました。そして、タイトルをつけました(例えば、「病と闘いながら、一生懸命に生きてきた後悔ない人生」等々)自分を見つめ直すいいきっかけとなりました。

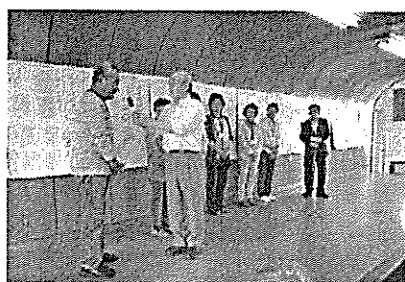
### ○「充実した人生90年時代を実現するためにー未来新聞を作ろうー」

将来の自分の姿を想像するということは中々できにくいことではありますが、「何かの社会参加をしている5年後の自分の姿を新聞記事にしてみる」ということを行いました。

はじめはとまどっておられましたが、みなさん記事にして班で一枚の新聞を見事に作る事ができ、全部の班がステージに上がって一人一人発表し合いました。



人生道路地図を作りました



5年後の未来新聞を作って発表

**空家利用のサロンできる**  
地区内で一人暮らしをしていた人が亡くなり空家が目立つようになってきた。その空家を有効利用するため、シニア大学を卒業した〇〇さん(七〇歳)の呼びかけでサロンが開設された。〇〇さんはシニア大学の時から近所のおばさん、おじいさんを集めてサロンを開きたいと考えていたそうです。  
手作りのお菓子や漬物を持ち寄って楽しい時が過ごせているとの事。お嫁さんから大変喜ばれているそうです。

「5年後の未来新聞」

《俳句》

不如帰一声鳴きて山を執る  
人の行く裏に道あり桜咲く

鋤柄 惟夫



《短歌》

幾度も近寄りて愛てむカトレヤは叔母の葬儀に貰ひ来し花

大島 祥子

病む友の夫招かれた赤坂のみやげひらげばと紋は菊  
病院のつかい通えし幾月もすべて終えたり今は黒柿

東野ハナミズキ

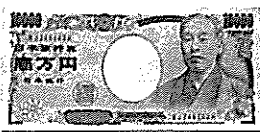
半年で出入り禁止で糸じつつ筆談のときやとときたれり  
初夏の風窓よりほほに心地よく同じはなしは何處だったか

傾聴ボランティアの女 ひと

《川柳》

すぐ家出論吉は我が家の問題児  
帰宅してうがい手洗い皿洗い

詠み人知らず



《原稿募集》

(公財) 長野県長寿社会開発センター飯伊地区賛助会では年 4 回の機関誌「かざこし」を発行しております、その季節に併せたもの、行事、イベント等紹介しておりますが、今回は 6 月 5 日に行なわれました飯伊地区賛助会総会と内山理事長と飯伊地区賛助会幹事の意見交換会・文芸欄・等 6 ページです。編集部では毎回皆さんの原稿をお待ちいたしております。詳しくは事務局、編集委員会にお尋ね下さい。

- ◇ 事務局 飯田保健福祉事務所・福祉課 担当 松澤 ☎ 0265-53-0464 FAX 0265-53-0474
- ◇ 編集委員会 同上 担当 名取 ☎ 0265-53-1165 FAX 0265-53-1165

《編集後記》

5 月第 4 土曜日、希少植物愛護会の地域の仲間達と背丈ぐらい高く生い茂る中、草刈作業をした。空は真っ青に晴れ上がり、強陽光を里山に留保なく照りつけ、苦しいほど草の匂いの中、刈払機のすざましい音が響く、今年も加速する異常気象、先取りするような真夏を乗り切ろう。

総会も終え、賛助会のあるべき方向と長寿社会開発センターの多少の距離感はありませんが、会員の増強、新しい出会い、学びの喜びが互いに伝わる会に願いたい。

賛助会幹事 三村 弘三



## 講演

# 「生田村へ墜落した戦闘機と塩倉の人々」

講師 前松川町資料館

酒井幸則先生

### <真相究明調査を始めた動機>

皆さん、まず題名をみて思うのは「こんな田舎へ戦闘機が墜落？それほんとの話？」ではないでしょうか。

酒井先生も正にそんな思いから、生田の地に伝わる話の真相の追究を始めることになりました。

地元の方々からの情報収集から始まり、各地・各機関をかけ巡ることによって、次のようなことが明らかになってきました。

### <調査によってわかってきたこと>

- ・墜落時は終戦一年ほど前の昭和19年8月8日。墜落地点は旧生田村役場付近、民家より約60メートルの地点。

- ・死亡のパイロットの出身は長崎。氏名は澤田熊雄さん。

- ・墜落後間もなく（数時間後）飛行機の主要部品は回収され運び出されたが、パイロットの遺体は放置され、



遺族と地元のみなさんによる法要

見向きもされなかった。

- ・飛行の目的は、当時満州での戦況劣勢を補おうとして、出発地へ集結するため。（残された数少ない資料からの推定）

### <墜落から今日までの様子>

- ・墜落後間もなく、状況を哀れに思った地元の方々の好意によって墜落地点に墓標が建てられた。

- ・婦人会の方々が中心になって、その後長い間墓標の周りが清掃、管理され供養されてきた。

- ・墓標が古くなると新しく建て替えられてもきた。

- ・雪の季節には、松川東小学校児童によって除雪



松川東小学校児童による除雪作業・墓参

作業・墓参もおこなわれた。

- ・後に遺族の方々が生田の現地を訪ね、墜落時より長い間、地元の関係者によって手厚く供養されてきたことを知り、感激のあまり、持参してきたお金の内5万円を、お礼として役場職員に渡して帰宅の途につかれた。（昭和54年7月）

### <遺族と塩倉の皆さんの合同法要>

墜落後62年（平成18年5月）町の関係者、地元の皆さん、遺族の皆さんによって合同法要が行われました。これまで長い間見ず知らずの一兵士のために、心を寄せてきた地元の方々に対して、遺族の方々から、「信州の皆さんの温かいお心に感謝します」とのお礼の言葉がありました。

### <講演をお聴きしての感想>

戦時中の出来事とはいえ、墜落機中の遺体が放置された悲しい事実と、その後にパイロットの遺族と地元・塩倉の人々との心の通い合いの事実について、映像を通して分かりやすくお話しいただいたことで、人としてお互いに思いやる心の大切さがよく理解できました。